

ハンドマイク街頭演説原稿例

核兵器廃絶・平和の外交ビジョン

二〇二二年三月二十六日 日本共産党埼玉県委員会・作成

ご近所のみなさん、こんにちば。日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間、ご協力をお願いいたします。

みなさん、ロシア・プーチン政権のウクライナ侵略が始まって一カ月がすぎました。ロシアの無差別攻撃により、ウクライナの人的危機はいよいよ深刻です。原発や民間施設への攻撃は国際人道法に反する戦争犯罪ともいえるべきものであり、絶対に許されるものではありません。戦争を止めるには、国際世論がなによりも重要です。ロシアの蛮行に強く抗議するとともに、「ロシアは侵略をやめろ。」「国連憲章と国際人道法を守れ」の声を引き続きあげていきます。日本からも反戦の世論をいっしょに広げていきましょう。日本共産党はウクライナへの支援募金にも取り組んでいます。ぜひご協力ください。

みなさん、プーチン大統領は、核兵器の先制使用を公言し、世界の国ぐにを核で威嚇しています。ウクライナでは核戦争の脅威が現実のものとなっています。いま、核兵器という兵器を人間にもたせることがどんなに危険なことか、核兵器というのは人間にもたせてはならない「絶対悪」の兵器だということが全世界に明らかになりました。プーチン大統領のような危険な指導者のもとでは、核の「抑止力」はまったくの無力です。にもかかわらず、維新の会はアメリカと日本で核兵器を共有する議論を始めようと提言を出しました。核の脅威に核で対抗する。これは、結局のところ、プーチン大統領と同じ立場に身を置くものであり、被爆国の政党の資格はありません。どんな国であれ、核兵器を使用させない道はただ一つ、全世界から核兵器をなくすことではないでしょうか。日本共産党は、核兵器禁止条約への参加こそ、日本が選択すべき道だと考えます。今度の参院選で、日本共産党を大きく伸ばし、核廃絶に力をつくす政治に変えていきましょう。ご支援をよろしく願います。

みなさん、ロシアの無法な軍事行動を見て、「日本の平和は大丈夫か」と心配の声が寄せられています。当然の不安だと思います。ただ、相手が「軍事、核兵器、力の論理」で来た時に、こちらも「軍事、核兵器、力の論理」で対抗したらどうなるか。「軍事対軍事」の悪循環が起こり、果てしのないエスカレートにおちいってしまいます。それが一番危険なことです。今こそ東アジアを平和の地域にしてくれたための憲法9条を生かした平和外交こそ必要です。東南アジア諸国連合（ASEAN）は、年間1000回もの域内会合を重ね、外交の力で軍事紛争をなくしてきました。日本共産党は、ASEANと協力し、日米や中国なども加わる東アジアサミットを活用・強化して、東アジアを平和と協力の地域にしていく「外交ビジョン」を提案しています。その実現のためにも、岸田自公政権が執念をもつ9条改憲の動きを阻止するために全力をつくします。参院選では、日本共産党と梅村さえこ予定候補へのご支援を重ねて願います。

最後になりますが、気候危機、ジェンダー平等など多彩な記事満載の「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購読いただきますようお願いいたします。この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございます。（了）